

そのお化け屋敷には
お化けよりも怖い
三匹の鬼^{マニア}がいる...

ホチキス Vol.45

お化け屋敷



うらめしブギ

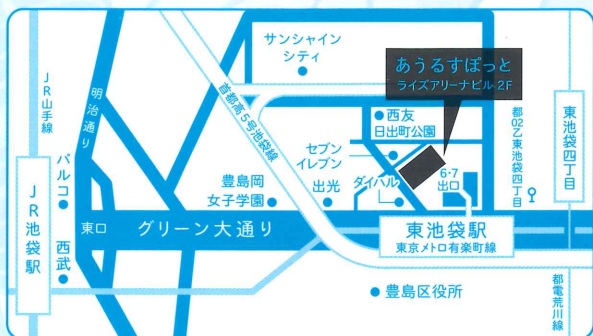
遊園地内で人気ワーストワンの「お化け屋敷」を甦らせろ！
その任務を命じられたのは、怖いものが大の苦手の新人！？
ホチキスが贈る、抱腹絶倒ホラーコメディー！！

あらすじ 都心から少しはなれたある街に、ちょうどいい規模の遊園地ドリームパーク。人気アトラクションの中で、国内で一番人気のないアトラクション。それが、お化け屋敷の「ホラーハウス」だった。さらに、隣のイベントスペースに期間限定で新しいお化け屋敷「断末魔迷宮」ができてしまいさらに閉古鳥状態に。そんな中、ドリームパークに入社してきた南雨 祈(なむあみいのる)が配属されたのは、まさかの「ホラーハウス」。怖いものが苦手な南雨はおそろおそろ、アトラクション内に足を踏み入れる。しかしそこには、三人のお化けマニアが互いのお化け愛をぶつけ合う、奇妙な世界が広がっていた…。

公演日程 2022年3月18日(金)～3月27日(日)

3.18(金)	19(土)	20(日)	21(月・祝)	22(火)	23(水)	24(木)	25(金)	26(土)	27(日)
19:00	13:00 18:00	13:00 18:00	13:00	休演日	19:00	19:00	19:00	13:00 18:00	12:00 16:00

会場 あうるすぽっと



あうるすぽっと
OWLSPOT THEATER

170-0013 東京都豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル2F

【アクセス】◎東京メトロ 有楽町線「東池袋駅」6・7出口より直結 ◎JR 他各線「池袋駅」(東口)より徒歩10分 ◎都電荒川線「東池袋四丁目」より徒歩2分

3月5日 「うしろうしろ！」今から約2年前、2020年の3月下旬、連日聞こえる感染のニュースに辟易としながら、当時4月に予定していた公演の稽古場に向かって、「絶対に上演してやる」と意気込んでいた私の目に、信じられないニュースが飛び込んだ。日本を代表するコメディアン、志村けんさんの訃報だ。私は、事の重大さを感じ知らされた。その後も感染は拡がり続け、ほどなくして、日本はもとより、世界は動きを止めた。あれから、2回目の春を迎えようとしている。コロナが猛威を振るう度に、自主的に自宅待機を繰り返してきた我が家。その度、保育園に行けない息子はフラストレーションを溜め、解消する方法はもっぱらDVDの鑑賞だ。しかしそろそろネタも尽きてきた。私は、最後の手段として「8時だョ！全員集合」のDVDを観た。初めて観るドリフターズに、最初は戸惑っていた息子が、次第に見方を理解し、志村けんさんの一挙手一投足を追いかけ、興奮し、爆笑し、そしてあの一言を放った。「志村うしろ！」そう。「8時だョ！全員集合」のオープニングコントの十八番パターン。志村けんさんが、何やら怪しい所て一人留守番をする事になるのだが、そこで奇妙な出来事が次々に起こる。けんさんの後ろで怪しく動く仏像、壁からにゅっと出る白い手、どんでん轟から出る白猿の幽霊…。この番組は、観客を入れた状態で収録、全国に生放送されていたので、会場にいる観客の笑いもテレビで流れる。背景でうごめく船体船底に気づかず騒々としているけんさんに、観客からもテレビの前から「志村うしろ！」と声援が送られている。時を経て、息子も同じようにテレビに向けて、声援を送っている。その様子を見ながら、私の頭に、当時リアルタイムでこの番組を今は亡き父と一緒に観ていた記憶が蘇った。あまうバラエティを好まない堅淡な父だったが、「ドリフだけはOK」という謎ルールで、土曜の8時は私にとって、唯一バラエティを観る特別な時間だった。リビングで寝転びながら観る父の隣に、同じように寝転び観る私。ドリフターズの繰り出すボケとツッコミに狂喜乱舞し、隣にいる父に絡む私の姿が、父のたたくましい腕が、割り線があるざらざらした頬の手触りが、ネイビーのスポンの色が、鮮明に蘇ったのだ。昨年私は、病死した父の享年と同じ年齢となった。横で眺めながら息子を見るたびに、若くして他界した父の事を強く思う。家で自主待機をしていた頃、ちょうど、劇団公演をどうしようかと思案していた。新たな株により状況は刻一刻と変わっていく。コロナ禍で2本の劇団公演を上演してきたが、感染予防と芝居作りの両立、人の移動が制限された中で興行の成立はとてむずかしい。今やるべきなのか、そもそも今やっつけていいのかわ、自分の頭の中では、日々違う回答が出た。しかし、息子の「志村うしろ！」の声で、私の胸に火が着いた。やろう。「川」の字ならぬ「ウ」の字になって寝転びながら観て興奮した、あの爆笑の世界を舞台でつくろう。それが、未曾有の危機が暗く陰鬱とした世界にほんの少しでも元気と活力になればと、私の、そして、劇団ホチキスが培ってきた経験と技術と愛を全て注ごう。DVDを観終わった息子に次のドリフを勧めたも、息子は機関車トーマスを選び、ヘビロテした。劇団ホチキス代表 米山和仁

チケット

◎スーパープレミアム：10,000円(税込)

……【プレミアム特典】……
うらめしフォトブック
出演者の写真と共に、出演者が考えたオリジナルお化けを小玉久仁子がイラスト化！
舞台写真アルバム
うらめしブギの舞台写真を収めたフォトアルバム(米山のボエムを添えて)※公演後郵送でのお渡しとなります

※最前列含む前列エリア・非売品特典付(会場にてお渡し)
※舞台と観客席との間に距離を作るために、最前列A席1列をすべて空けた状態での座席配置となっております。

◎一般：7,000円(税込)

チケット発売

◎一般発売 3月5日(土) 10:00～

チケット取扱

[Confetti (カンフェティ)]
WEB予約 <http://confetti-web.com>
電話予約 0120-240-540 (受付時間 平日 10:00～18:00)
[特設ホームページ]
<http://www.hotchkiss.jp/urameshi>

脚本・演出 米山和仁

出演



加藤 将

伊藤優衣



小玉久仁子

齋藤陽介

内村理沙



山本洋輔

すぎやまみゆび

柚来しいな



山崎雅志

高木 俊

アンサンブル 高橋紀樹 / 中西真唯 / 原 那由他

スタッフ ●舞台監督: 橋田哲也 ●演出部: 藤部康太郎 / 長原有泉 ●総合アートディレクター: 小玉久仁子(ホチキス) ●照明: 阿部将之(LIGHT-ER) ●音響: 山口剛史 / 宮 宇 / 尾村真理 / 福岡寛和 ●美術: 泉真 ●衣装: 清水聖代美 ●衣装進行: 佐久間のみお ●ヘアメイク: 黒田はるな ●ヘアメイク協力: 成谷充美 / 柴田桃子 ●イラスト: 小玉久仁子(ホチキス) ●宣伝美術: 中戸健司(Creators Group MAC) ●写真: 佐藤孝仁(BEAMx10) ●WEBデザイン: プラン・ニュー・トーン(小林タクシ / 阿波島結美) ●制作: 佐藤恵美(MIMOZA) ●制作助手: 田加井 愛蓮 ●当日運営: 若林小夜(MIMOZA) ●企画・制作: ホチキス